

4799 号

2011 年 1 月 6 日

伝書鳩

全国一般労組・全国協議会
安倍川製紙労働組合
静岡市葵区田町 3-5-6
電話 054-271-7302
岩淵構内電話 340
abekawarouso@room.ne.jp

健康で文化的な生活と平和のため 働き要求・行動し実現しよう

民主党に裏切られた期待

一昨年の政権交代による「改革への期待」は裏切られ、日本は再び閉塞感がただよっています。思えば55年間にわたり自民政権とともに利権を手にして来た官僚機構が、そうやすやすと改革に舵を切ることはいないでしょう。



そしてマスコミは景気対策を盛んにあおっています。

しかし景気対策が成功しようと、しまいと私たちの生活の保障になるかといえば別の話といえます。

生み出された巨大な富はバクチに消えた

かつては企業の右肩上がり、労働者の賃上げと生活改善に結びつきました。しかし今、企業は働く者の生活と未来にしわ寄せすることで業績を上げているのです。

3年ほど前、戦後最大の景気拡大といわれた時、賃金は上がらず、非正規雇用が拡大しました。片方では役員報酬と株主配当が増え、もう片方ではマネーゲームに使われ、リーマンショックにいきついたのでした。

私たちは働く者の見方で仕事や生活、あるいは将来を考えるべきです。

働く仲間が安心して暮らせてこそその未来

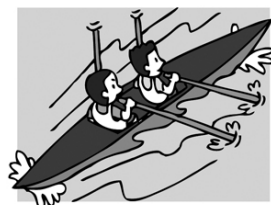
年が明ければ労働組合は「春闘」の時期です。安心して働ける仕事のために職場の改善を求めましょう。高温多湿の抄紙職場の対策は十分ですか？ 多少改善されたとはいえ、昨年の夏はつらかったですね。また工場内のデコボコなど、職場特有の改善要求も声を上げましょう。



今年の春闘で連合は「非正規の賃上げ優先」という画期的な方向を打ち

ウラにつづきます⇒

出しました。日本の賃上げの大きな壁を打ち破るためには重要な課題です。それを王子特殊紙や・王子紙業でどのように具体化させていくのか、職場に合わせた、現場の声・話し合いが必要です。



軍事緊張にだまされない

また、昨年日本の平和にとって重要な問題である沖縄はまだ決着がついていません。というより、普天間基地をそのままにしたり、移転というまやかして辺野古に基地を作るなど、平和に逆行する愚かな行為でしかありません。北朝鮮や中国の行動を口実に、軍事緊張をあおる日本や米国政府、そしてマスコミに NO! という声を本土から大きく上げることが必要です。

一緒に始めよう、すすめよう

小さなことから始めて、少しずつ大きな成果に結びつくように今年もがんばりましょう。